

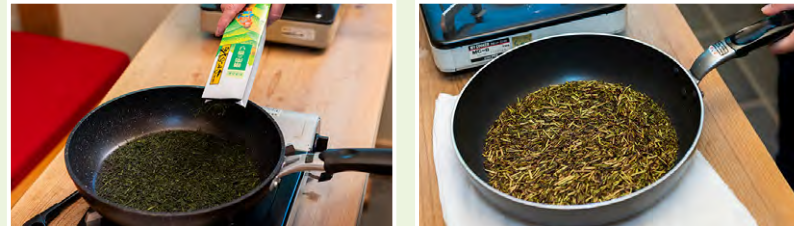
おうちで簡単！ 自家製ほうじ茶の 作り方

飲み飽きてしまったり、賞味期限が迫ったりと、持て余している煎茶はありませんか？ そんなご家庭にある煎茶をほうじ茶にリメイク！ ほうじ茶にするとカフェインが壊れるので、就寝前やお子さんの飲み物としても安心です。

- 【材料】

 - 煎茶…適量
- 【用意するもの】

 - フライパン
 - 濡れふきん
 - 茶缶
- 1 フライパンに茶葉を入れます。※積み重ならない程度で、鍋底にまんべんなくしきつめます。
 - 2 強火でしばらくそのままにして、見守ります。
 - 3 煙が出てきて、周りが白くなってきたら火を止めて、濡れふきんに下ろします。
 - 4 フライパンを持ち上げて茶葉を揺る、濡れふきんに置いて冷ます工程を3～4回繰り返します。
 - 5 茶葉が冷めて、全体が茶色になったら出来上がり。
 - 6 完全に冷め切ったら茶缶などに入れて保管します。※1週間程度で飲み切るのがおすすめです。



石川さんの アドバイス

ほうじ茶を煎る上で一番大切なのは、焦げないようにすること。真ん中のほうの茶葉はまだ色が変わっていても、香りが立ち、端が白くなってきたら下ろしましょう。揺すっているうちに余熱で全体に色が回っていきます。



ココがポイント！ ほうじ茶の淹れ方

ほうじ茶は、熱々の湯でOK。急須に茶葉を入れ、沸騰した湯を注いで約10秒。煎ることで苦みや渋みが和らぎ、香ばしい風味がプラスされるので飲みやすくなります。



愛媛県伊方原子力広報センター

原子力発電や放射線について、展示パネルや地形模型、映像等で紹介しています。ご自由に見学していただけますので、ぜひご来館ください。

- ご利用案内
- 開館時間／午前9時～午後4時 ●休館日／祝日及び12月29日～1月3日
 - 所在地／〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦1995-1 伊方町民会館内
Tel.0894-38-2036 Fax.0894-38-2026 URL <https://www.ikata-dr-sada.or.jp/>
 - 交 通／JR八幡浜駅から車で約20分 ●入場料／無料(団体での見学はあらかじめご連絡ください。)

発行／愛媛県 編集／公益財団法人 伊方原子力広報センター
令和2年12月 〒796-0301 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1995-1 (伊方町民会館内)
【TEL】0894-38-2036 【FAX】0894-38-2026



えひめ原子力だより **それいゆ**

Soleil

2020
Winter
No.159

ナビゲーターが 伝授します！ ウチ活 で楽しむ愛媛の宝

もっとおいしく！

日本茶の 楽しみ方



Contents

- P1 特集 / INTERVIEW
伊方原子力発電所環境安全管理委員会の専門部会の委員に聞いてみました！
- P2 令和2年度 愛媛県原子力防災訓練を実施しました。
- P3 伊方原子力発電所環境安全管理委員会 原子力安全専門部会の報告書が取りまとめられました。
- P4 環境放射線等調査結果をお知らせします。
- P5 講演会のご案内
- P6 ウチ活で楽しむ愛媛の宝 Vol.3

霧の森 (四国中央市)
日本有数のお茶どころである四国中央市新宮町にあり、新宮茶を使った「霧の森大福」でも有名。清流馬立川が流れる敷地内には、カフェやレストラン、コテージがあり、大自然の中でゆったりステイを楽しめます。

特集 インタビュー

伊方原子力発電所環境安全管理委員会の 専門部会の委員に聞いて みました！



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全研究・防災支援部門原子力緊急時支援・研修センター兼安全研究センター
特別専門職 中村 秀夫 委員

【略歴】 名古屋大学大学院工学研究科結晶材料工学専攻修士課程を修了後、旧日本原子力研究所（現在の日本原子力研究開発機構）に入所されて軽水炉事故時の炉心の冷却などに関する規制支援研究に携われ、同大学では原子核工学博士を取得されました。現在は、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）にて軽水炉の安全向上策などを加盟国間で共有する「事故の分析と管理ワーキンググループ（WGAMA）」の副議長を務めるほか、原子力災害時の対応に関する研修を支援するなど、国内外で御活躍をされています。伊方原子力発電所環境安全管理委員会原子力安全専門部会の委員には平成30年に御就任いただき、伊方発電所の安全対策等について様々な御助言をいただいております。

Interview 1.

Q. ご専門の道にお進みになったきっかけは何ですか。

A. 学生の頃は、未来のエネルギー源と言われる核融合炉の第一壁が放射線で損傷する過程を研究していました。ある日教授から、旧日本原子力研究所で職員の募集があるとと言われて茨城県の東海村へ行き、なぜか軽水炉の事故を扱う安全工学部長の面接を受けました。「核融合に関わる研究がしたいそうだが、核融合成立のローソン条件を全て挙げてみたまえ」と問われ回答に窮したところ、書棚からその方の名前が書かれた「核融合」という分厚い本を出して詳しく解説され、「原稿書きは夜にするものだよ。安全研究はこれから重要な分野だが、どうかね」と笑顔でおっしゃり、建設間もない大型試験装置を案内してくださいました。その時眺めた太平洋は広くダイナミックで、今も変わらず窓の外にあります。

Interview 2.

Q. ご専門に関するお仕事の中で、苦勞されたエピソードがありましたら教えてください。

A. 軽水炉の事故を実規模で模擬して、300℃を超える高温高压の条件で実験を行います。激しく動く冷却水などを詳しく観測できる市販の計測機は無く、自作と試行錯誤の末にデータが得られた時は感慨無量ですが、限界への挑戦は今後も続きます。一方、東京電力福島第一原子力発電所の事故の前から、燃料が破損する重大事故に係る研究にも関与しており、炉心が冷却されない時の現象も概ね理解したつもりでした。しかし、今回の事故では事故への備えも不十分でしたが、一部の炉計測が不正確となって燃料の破損等の事態が正確には把握できず、現実には立ち向かう困難を深く強く思い知らされました。

Interview 3.

Q. 県民の更なる安全・安心のため、伊方発電所や県に対して望まれることがあれば教えてください。

A. 安全・安心は肌感覚ですが、現場力に立脚しています。安全性向上の取り組みを続け、新検査制度も開始したところですが、四国電力にはより一層、丁寧に分かりやすい説明を心がけていただきたいと思います。伊方発電所ではまた、愛媛県独自の取り組みであるえひめ方式※により、常に緊張感を持って運営がされていますが、これは非常に良い取り組みですので、緊密な連携と連絡を今後も続けていただきたいと思います。

※伊方発電所で発生した正常状態以外の全ての事態について、四国電力が県及び伊方町に直ちに通報連絡し、県が全ての事案を公表するやり方。

Interview 4.

Q. 最後に先生から一言お願いします。（伊方発電所周辺住民の方等に対して）

A. 私は、中立的な立場で原子力発電の安全に向き合うことを信条にしています。安全に関しては決して気を緩めることなく、伊方原子力発電所環境安全管理委員会原子力安全専門部会委員として、発電所の現場力が常に向上され、安全性の継続的な改善が達成されます様に務めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和
2年度

愛媛県原子力防災訓練を実施しました。

令和2年10月22日（木）に、県内で感染症が流行している状況下において伊方発電所で事故が発生したとの想定で、県内市町や国、周辺県等と連携し、原子力防災訓練を実施しました。

伊方発電所から30km圏内の地域を中心に、各訓練項目において感染疑い者とそれ以外の者とを分

離する等の感染症対策、代替避難経路の状況把握等を目的としたドローンの飛行ルート自由化に係る実証実験や住民避難の多様化のための県漁業取締船による佐田岬半島住民の海路避難等を実施し、万が一の事態に備えて防災関係機関との連携及び習熟を図ることができました。

実施日時

令和2年10月22日（木） 8時30分～15時00分

参加機関及び人数

99機関 約20,000人



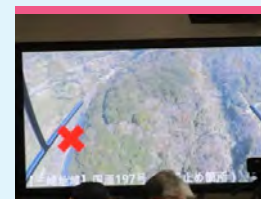
災害対策本部会議



災害対策本部



関係機関とのテレビ会議



ドローンからの映像確認

要配慮者避難訓練

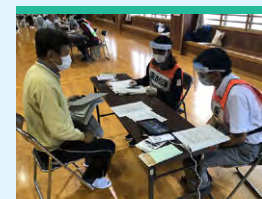


要配慮者避難訓練1



要配慮者避難訓練2

原子力災害医療活動訓練



安定ヨウ素剤
緊急配布訓練（問診）



安定ヨウ素剤
緊急配布訓練（配布）



避難退域時検査
（指定箇所検査）



避難退域時検査
（車両汚染）



避難退域時検査
（代表者検査）

住民避難・誘導訓練



感染症対策（検温）



感染症対策
（体調不良者の分離）



クリーンエアドームの見学



海上保安部巡視船による
海路避難訓練



大型バスによる陸路避難

伊方原子力発電所環境安全管理委員会 原子力安全専門部会の報告書が取りまとめられました。

使用済燃料乾式貯蔵施設の設置計画及び伊方2号機廃止措置計画については、平成30年に四国電力㈱から事前協議の申入れがあって以降、伊方原子力発電所環境安全管理委員会原子力安全専門部会において、乾式貯蔵施設の先行事例となる東海第二発電所及び福島第一原子力発電所の現地調査を行うとともに、原子力規制委員会の審査結果※や資源エネルギー庁における核燃料サイクル政策及び廃止措置に伴い発生する廃棄物対策に係る説明

等を踏まえて、技術的・専門的視点から計画の内容や安全性等を厳しく審議していただいた結果、令和2年11月25日(水)に開催された同専門部会において、原子力規制委員会の審査結果は妥当と判断した上で、更なる安全性向上に向けた付言、要望事項を含めた報告書が取りまとめられ、今後、親会である伊方原子力発電所環境安全管理委員会に報告されることとなりました。

※使用済燃料乾式貯蔵施設：令和2年9月16日許可
伊方2号機廃止措置計画：令和2年10月7日認可

原子力安全専門部会としての付言、要望事項

使用済燃料乾式貯蔵施設

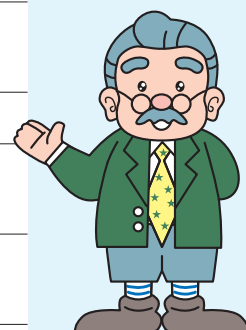
- ① 設置工事などにおける安全確保への取組み
- ② 貯蔵期間中における安全性向上に向けた新知見の反映等
- ③ 使用済燃料の計画的な搬出に向けた取組み
- ④ 原子力政策の理解促進

伊方2号機廃止措置計画

- ① 廃止措置期間中の安全確保等
- ② 人材確保・育成
- ③ 低レベル放射性廃棄物の処分
- ④ 今後の段階的な確認

原子力安全専門部会の審議状況

年 月 日	内 容
平成30年 6 年15日	● 乾式貯蔵施設設置計画について説明
平成30年 9 月11-12日 平成30年 11月 7日	● 乾式貯蔵施設先行事例視察〔日本原子力発電㈱東海第二発電所及び東京電力HD㈱福島第一原子力発電所〕
平成31年 2 月 8日	● 乾式貯蔵施設先行事例視察等を踏まえて審議 ● 廃止措置に係る規制の概要及び廃止措置計画認可申請の概要を聴取
令和 2 年 2 月18日	● 乾式貯蔵施設への地震等外力の影響について審議 ● 廃止措置計画認可申請の審査状況を聴取
令和 2 年 9 月 8日	● 乾式キャスクの安全機能について審議
令和 2 年 10月16日	● 乾式キャスクの安全機能について継続審議 ● 廃止措置計画認可申請の審査状況を聴取
令和 2 年 11月13日	● 国から審査結果、核燃料サイクル政策及び廃止措置に伴い発生する廃棄物対策について聴取、部会報告書(案)を提示
令和 2 年 11月25日	● 部会報告書の取りまとめ



環境放射線等調査結果をお知らせします。

令和2年4月～令和2年6月

愛媛県と四国電力㈱は、伊方発電所周辺の環境保全を図るとともに公衆の安全と健康を守るために、発電所周辺の環境放射線や放射能の調査を行っています。



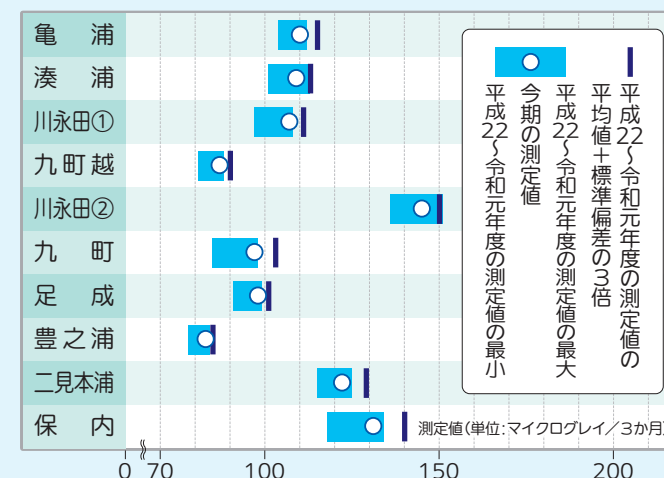
伊方発電所周辺の環境放射線量（代表的な地点の例）

伊方発電所の周辺41地点のモニタリングポイントでの4月～6月の3か月間の測定値は、どの地点も、これまでの値と同程度で、**異常はありませんでした。**

環境放射線量

環境における放射線の3か月間の積算線量で、ほとんどがその地点における大地からの放射線と、宇宙線によるものです。

● 平成22年度以降の測定値との比較



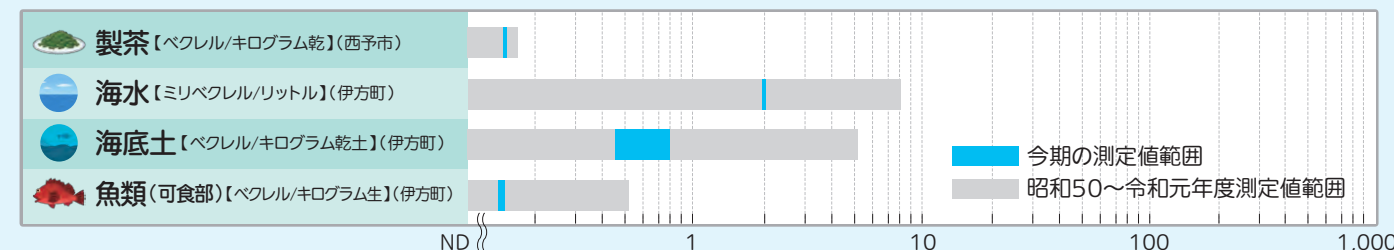
環境放射線のリアルタイムのデータや過去の測定結果は

「愛媛県原子力情報ホームページ <https://www.ensc.jp/pc/main/index.html>」でご覧いただけます。

■ 環境試料の放射性核種分析結果

伊方発電所周辺の環境試料中の放射性物質の分析結果は、過去の調査結果と同じレベルで、**異常はありませんでした。**なお、セシウム-137がわずかに検出されていますが、これは伊方発電所1号機運転開始前から継続して検出されているもので、人体への影響上、問題となる濃度ではありません。

● セシウム-137の放射能測定結果（愛媛県測定分）



(注) 放射性物質が検出されていない項目については表示していません。

講演会のご案内

参加無料

原子力発電や放射線、エネルギーについての講演会を下記3会場で開催いたします。

■ 講演 1

伊方
会場

- 日 時 令和3年1月20日〔水〕
13:30~15:30
- 場 所 伊方町生涯学習センター 多目的ホール
- 募集人員 80名
- 講 師 近畿大学 理工学部 電気電子工学科 教授
あつ み ひさ お
渥美 寿雄 先生
- テーマ 『エネルギーと環境』



■ 講演 2

伊予
会場

- 日 時 令和3年1月30日〔土〕
13:30~15:30
- 場 所 ウェルピア伊予 銀河の間
- 募集人員 115名
- 講 師 愛媛大学 医学部 客員准教授
ます だ せい ぞう
増田 晴造 先生
- テーマ 『放射線の人体への影響・原子力
防災関係(広域避難・ヨウ素剤など)』



■ 講演 3

松山
会場

- 日 時 令和3年2月23日〔火〕
13:30~15:30
- 場 所 愛媛県武道館 大会議室
- 募集人員 60名
- 講 師 九州大学 大学院 工学研究院 エネルギー量子工学部門 教授
いで みつ かず や
出光 一哉 先生
- テーマ 『核燃料サイクル』



感染症予防対策のため、マスク着用と検温、手指消毒等へのご協力をお願いいたします。

お申し込み先

公益財団法人 伊方原子力広報センター

TEL:0894-38-2036〔受付時間:9時~16時(祝日除く)〕

FAX:0894-38-2026

ホームページ <https://www.ikata-dr-sada.or.jp/>

*参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号をお知らせください。お申し込みは、先着順とさせていただきます。



ナビゲーターが 伝授します! ウチ活

で楽しむ愛媛の宝

ウチ
お家で過ごす時間をもっと豊かに、もっと楽しいものにするための「ウチ活」をしませんか。なかでも食べるもので免疫力を高めたり、旬を味わったりするクッキングは、今年イチオシの楽しみ方。愛媛県各地の食材や食文化にスポットライトをあてて、その分野のスペシャリストが「愛媛の宝」を生かした食生活を提案します。家族で取り組んで、食卓から健康づくりをしましょう。

日本茶の
楽しみ方
その1

味わいと香りを楽しむ
煎茶の淹れ方

最近、家で日本茶を飲んでいますか?若い世代では、家に急須がないという人もいるようですが、日本茶には様々な健康効果も。そこで「霧の森」の日本茶インストラクターが伝授する淹れ方を学んでみませんか。



【材料】3人分

- 茶葉…10~12g
- 湯…湯呑み3杯分

【用意するもの】

- 急須 ● はかり
- 湯ごまし(計量カップ、マグカップで代用可)
- 湯呑み ● 砂時計などのタイマー

- 1 沸騰した湯を冷ますため、湯呑み3杯分のお湯→湯ごまし→急須の順に移し、湯ごましに戻します。
- 2 急須に茶葉を入れ、湯ごましの湯を急須に注ぎ、そのまま1分待ちます。
※ここでは揺すらないのがポイントです。
- 3 急須のお茶を湯ごましに全て注ぎます。
- 4 湯ごましから湯呑みに適量ずつ注ぎます。



ちよつとした
コツをつかんで
煎茶名人た♪

1煎目は甘み、
2煎目は渋み、
3煎目は苦みと、
変わっていく味わいを
楽しんでください。



石川さんのアドバイス

急須は注ぎ口が広く、同じ素材の茶こしが一体型になったものが望ましいです。

沸騰したての湯で淹れると渋みが出やすいので、①の手順で湯を冷まししょう。また湯呑みに注ぐ際に回し注ぎをすると、急須を傾ける動作を繰り返すので、その間にお茶が濃くなり渋みも出てしまいます。湯ごましに全て注いでから湯呑みに注ぎ分けましょう。



日本茶インストラクター
石川 安代さん
<https://www.kirinomori.co.jp>
街道茶店「聴水庵」では新宮茶の淹れ方講座やほうじ茶煎り体験を実施中。

あつから日本茶で
もっと豊かに
おうち時間を
楽しもう!